



コミスク通信 in 椿東小

あねえ なこと **こねえ** なこと

平成29年12月

気がつけば、もう師走。今年も残すところ1ヶ月となりました。この“師”にはいろいろな説があるようで、“お坊さん”とか“お寺の案内をする人”とかもちろん“先生”というのも入っています。このごろの“先生”は、師走だけでなく年がら年中忙しく、走り回っています。

この先生の忙しさを解消するために、文科省は「学校における働き方改革」という緊急提言を発表しています。業務改善のさまざまな提案がされていますが、目の前の子ども達や、保護者への対応を大切にして、効率化できるところはスリムにしていきたいものです。コミュニティ・スクールとして、地域のみなさまのお力添えをいただくことが、これからますます多くなってくると思われます。どうぞよろしくをお願いします。

脚下照顧 (きゃっかしょうご) わが身、わが心を見つめる。

今年度、椿東小学校で力を入れて取り組んでいることの一つに、「履物をそろえる」ということがあります。下足箱の靴や、トイレのスリッパをそろえようというものです。繰り返し指導されていますが、なかなか定着しないのが実情です。

お寺の玄関にはよく「脚下照顧」と書いた看板があります。文字どおり「自分の足下を良く見つめなさい」ということから、脱いだ履物をきちんとそろえましたか？という注意書きです。しかしこの言葉は、たんに履物の脱ぎ方を注意しているわけではないそうです。「形は心の表れ」と言いますが、心が乱れていると、何ごともきれいに整えることが難しくなるものです。玄関を見ればその家の状態がわかるというほど、靴の脱ぎ方ひとつにも、心のあり方が見えると言われます。足下を見ることは、わが身、わが心を見つめることでもあります。足は人間の体を支える根幹です。足下がぐらつくと、安心して立つことができません。身体が安定しないばかりでなく、心まで不安定になってしまいます。「履物をそろえる」行動をとおして、子ども達にも自分の心を見つめ直してもらえるとよいのですが・・・

私たちも、“忙しい”と、心が余裕を失いそうなときこそ、立ち止まって足下を見つめたいものです。

12月の「学校へ行こう！」

6日(水) 心を育むあいさつ運動

15日(金) 学校運営協議会 13:30~

18日(月) シャボン玉教室 14:10~ (体育館)

(オカリナ演奏などあります。ぜひお越しください！)

21日(木) 個人懇談

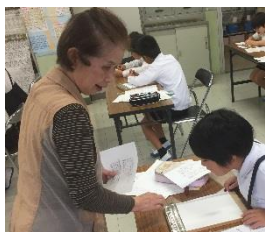
26日(火) しめなわ作り教室

「ほうじ(カメムシ)」が多い年は雪が多いと言いますが、今年も“ほうじ”が多いので、雪が多くなりそうです。この言い伝え？本当かどうかわかりませんが、我が家では、ペットボトルで捕獲器を作って家中にしています。雪の被害がないといいですね。



地域のみなさま・ボランティアさん 今年もお世話になりました！

学校の授業や行事、さまざまな場面で地域の方々の力をお借りしています。おかげさまで、子ども達も元気で笑顔いっぱい過ごすことができています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



このほか多くのみなさまにご支援いただきました。ありがとうございました。